

希望

（題字の「希望」は校歌の一部から抜粋しました）

平成 23 年 4 月 28 日発行
学校だより 第 11 号
北海道今金高等養護学校
〒049-4304
〒049-4304
TEL 0137-82-3121
FAX 0137-82-3092

開校 15 年目を迎えて

学校長 播磨 正一

遅い雪解けでしたが、春らしい陽気に屋外での活動も始まり、さっそく生徒達は体力づくりのマラソンに汗を流しています。新入生も元気に登校し、高校生活の一步を着実に歩み出しています。環境の変化にもすぐに順応し、明るい笑顔を見ると、その適応力の高さに若い力を感じています。

さて、3月11日に起きた「東日本大震災」では、現在も行方不明の方が1万5千人近くおられ、更に十数万人の方が避難生活をされています。道南は東北との繋がりが深く、ご親戚や知人などで被災された方もおられるのではないのでしょうか。心からお見舞い申し上げます。

本校は平成9年に開校し、今年で15年目を迎えます。先月末、校長室の棚を整理していたところ、一冊の本が目にとまりました。柴谷勝俊著「ともに育つ心の軌跡」著者の柴谷勝俊さんは、檜山管内障害児教育の先駆者で、今金町にある社会福祉法人「光の里」の理事長を長く務められた方です。その本の中に「高等養護学校の誘致運動に思う」との一文があり、次のような内容でした。

昭和40年に檜山管内障害児学級が「檜山心身障害児教育研究會」を発足させ、事務局長に就いた柴谷さんは、檜山に養護学校を誘致しようと呼びかけたそうです。昭和54年に「今金町道立養護学校誘致期成會」が結成され、13年間に及ぶ運動の結果、本校の開校に実を結ぶことになった喜びが記されています。

これによると、本校は開校15年目ですが、その同じ年月が誘致運動にかけれられ、更に15年近く前に、柴谷さんによって種がまかれていたのです。15年の3倍にもあたる年月が織りなされて、現在の今金高等養護学校があることを知ることができました。

今年度の経営重点の一つに「より地域に根ざした教育活動」を盛り込みました。生徒達は、この町の一員としてたくさんの方の行事に参加し、住民との交流を深めることで温かく励まされ成長しています。我が国は、共生社会の実現を目指しており、そのためには、本校のような特別支援学校が、地域の中で相互理解を拓げる中心軸となるのが大事です。これからも、生徒を囲む保護者、教職員、地域の皆さんが、いつも温かい言葉をかけながら接する中に、子どもの成長があることを信じて、取り組んでいきたいものです。今年度も、本校の教育活動について、ご協力とご支援をよろしくお願い致します。

入学式・対面式が行われました

4月11日（月）本校体育館において、平成23年度入学式が挙行されました。今年度は、産業科8名、農業科8名、生活家庭科8名の合計24名の新入生が、入学許可を受けました。高等養護学校での学習や、寄宿舎での生活を通して、たくましく成長し、多くの思い出を作ってほしいものです。



新入生代表



緊張している新入生



転任者紹介



この度、留萌高校より赴任しました高橋一矢です。高等養護での勤務ははじめてになりますが、これまで勤務した5校での経験を生かし、全力投球で頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

高橋 一矢



日高管内の静内高校より赴任しました事務長の青山義之です。一日も早く事務室の仕事に慣れ、学校の運営に力を注ぎたいと思っています。また、今金町民としても早くとけ込みたいと思います。よろしくお願いいたします。

青山 義之



この度、八雲町の落部小学校より赴任しました田中龍右エ門です（「リュウウエモン」と読みます）。産業科1年生の副担任になりました。会監も担当いたします。3年越しの希望が叶い、たいへん喜んでいきます。よろしくお願いいたします。

田中 龍右エ門



この度、新篠津高等養護学校より赴任しました上村幸教です。1学年の進路指導を担当します。ご家庭や学級と連携を密にし、生徒にとって、より良い卒業後の生活を考えていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。上村 幸教



この度、留萌管内の小平高等養護学校より赴任しました高田のぞみです。3学年の農業科を担当いたします。北斗市（旧大野町）出身のため、道南の空気がとても懐かしくうれいいます。今金町の良さを感じながら新たな気持ちで頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。高田 のぞみ



この度、新採用となりました野口麻衣子です。昨年度まで、江差中学校に勤務していました。念願の養護学校での勤務になります。みなさんと一緒に勉強できるのを楽しみにしてきます。1日も早く学校に慣れてがんばりたいと思います。よろしくお願いいたします。野口 麻衣子



新採用の鐘ヶ江真知です。昨年度まで、札幌養護学校もなみ学園分校に勤務していました。生徒と共に学び、成長していくことができるよう1日1日を大切に一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。

鐘ヶ江 真知



この度、小樽豊学校より赴任しました寄宿舎指導員の竹端賢一です。たくさんの方の寄宿舎生がいるので楽しみにしています。みなさんと一緒に楽しい寄宿舎生活を作っていけるようがんばりますので、よろしくお願いいたします。

竹端 賢一



この度、道都大学より寄宿舎指導員として着任いたしました、島野五樹です。1年目ということもあり、御指導して頂く事ばかりと思いますが、生徒達が自立に向けて力をつけていくために一生懸命つとめます。よろしくお願いいたします。

島野 五樹



この度新採用で寄宿舎指導員として着任いたしました、松尾晴奈です。三月に短期大学を卒業したばかりで、不安もありますが1日も早く生活や仕事の慣れ、毎日笑顔で元気に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

松尾 晴奈



4月から臨時介護員として勤務することになりました出村朱美です。高校生の介護は初めての経験なので不安はありますが、生徒の皆さんに若さと元気をもらって頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

出村 朱美

ようこそ！

東日本大震災の義援金について



2月に行われた旧2学年の販売実習で義援金を呼びかけました。また、そのほかに野外活動部のバザー、生徒会や職員などからも義援金が集まり、総額8万円を北海道新聞社を通じて「東日本大震災義援金」へ寄付いたしました。